

平成30年度開催公開講座一覧(全22講座)

講座番号	担当	講分区分	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
1	公開講座委員会	高校生	2025年「超高齢社会」の未来を考える	2025年には、団塊の世代が後期高齢者層(75歳以上)に全入します。この7年後の社会では、高齢者が3人にひとりとなり、介護の必要性の高い後期高齢者も18%となりますが、これはちょうど現在の高校生が大学や大学院を卒業・修了し、社会に出たばかりの日本社会の姿です。この時代を予測し、多くの高齢者と共存する新しい未来を共に考えましょう。	大原 一興(横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授) 岡嶋 克典(横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 福楽 太郎(障がい学生支援室・保健管理センター) 高田 一(横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 関 ふ佐子(横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授) 工藤 由貴子(元 横浜国立大学 教育人間科学部 教授) 安藤 孝敏(横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授)ほか	2018/7/27(金) 2018/8/24(金) 2018/9/29(土)	18:00~20:00 (9/29のみ17:00~19:00)	横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室	無料	200	339
2	都市科学部	中学・高校生	都市の自然を楽しむライフスタイル	本学学生のガイドのもとに休日を利用し、都市の潮干狩りや山菜などの採取と試食、大学キャンパスの自然管理、江戸時代から都市に残った野生植物の鑑賞など、季節ごとのテーマを体験して都市の中に自然があることを体験的に知り、日常的に都市の自然を楽しむライフスタイルについて考えます。また都市の自然とその資源利用についてや、利用の制約となる制度などの知識を得ます。	小池 文人(横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授)	2018/5/19(土)ほか 計3回 ※土日に行う。天候や潮位などにもよるため主催者から連絡する。予定はホームページに掲載する。 http://vegel.kan.ynu.ac.jp/lifestyle/	9:00~17:00	屋内活動:総合研究棟S112実験室 屋外活動:横浜国立大学常盤台キャンパスほか市内や都内の公園など	無料	5	7
3	理工学部	高校生	第12回 海洋空間のシステムデザインカップ ひれ推進コンテスト	高校生に海や船・ものづくりの魅力を伝えるために講義とコンテストを実施します。まず7/16(月(海の日))(予定)に船や魚のひれに関する公開講座として講義を実施します。その後、各高校の参加チームにひれ推進模型を製作してもらい、8/25(土)に本学の大型実験水槽にてスピード等を競うコンテストを行います。なお、講義の内容は以下を予定しています。 「(1) 船はどんなふうに乗るの? (2) 船はどうやったら速く走れるの? (3) ひれ推進模型の制御について」	高木 洋平(横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 村井 基彦(横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 川村 恭己(横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 平川 嘉昭(横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 樋口 文浩(横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 高山 武彦(横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	2018/7/16(月・祝) 2018/8/25(土)	7/16(月・祝) 13:30~16:30 8/25(土) 9:30~16:00	7/16:メディアホール(予定) 8/25:船舶海洋工学棟3階講義室、大型実験水槽	無料	60	102
4	機器分析評価センター	高校生	高校生のための分析入門講座「テクノワールド2018」-最先端の分析機器を体験しよう-	大学の研究で用いる最先端の分析機器の操作体験を試みましょう。 実習予定テーマ:原子の世界を見てみよう(透過電子顕微鏡) ナノテクノロジーを体験しよう(走査型電子顕微鏡、束束イオンビーム加工装置) ダイエットコーラの成分を調べてみよう(質量分析装置) 放射線を見てみよう(イメージアナライザー)	栗原 靖之(横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 谷村 誠(横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 中川 哲也(横浜国立大学 大学院工学研究院 助教) 石原 晋次(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 田中 陽一郎(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 高梨 基治(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 吉原 直希(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 近藤 正志(横浜国立大学 機器分析評価センター 再雇用職員) 金田 祐子(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術補佐員)	2018/7/26(木)	10:00~17:00	機器分析評価センター	無料	20	20
5	都市科学部	中学・高校生	都市科学入門—都市科学部4学科の講義を体験する—	都市科学部は2017年にスタートした新学部です。都市科学とは、都市の魅力高め、インフラ・環境・災害・まちづくりなどの課題に文理融合の視点から科学的に取り組むものです。本講座では、各学科(都市社会共生学科、建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科)で何を学ぶのか、その概要と実際の講義に触れてもらいます。	佐土原 聡(横浜国立大学 都市科学部長・教授)ほか	2018/8/1(水)	9:00~15:30	教育文化ホール大集会室	無料	100	98
6	教育学部	高校生	歩いて知ろう横浜・吉田新田の歴史と地理	みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたくさんあります。横浜中心部にもたくさんあるのですが、そのほとんどは見逃されています。この講座では、横浜中心部の「吉田新田」をみなさんと一緒に歩きながら、そうした「痕跡」を宝探しのように見つけ出し、横浜の歴史や地理について楽しく考えていきたいと思います。	吉田 圭一郎(横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保(横浜国立大学 教育学部 教授) 鈴木 允(横浜国立大学 教育学部 准教授)	2018/8/3(金)	10:00~17:00	(午前) かながわ県民センター 1501会議室 (横浜駅西口より徒歩5分) (午後) 関内~吉野町周辺 (横浜市中区、南区)	無料	25	18
7	教育学部	高校生	障害とは何か	「障害」という言葉を知っていても、説明することはなかなか難しいのではないのでしょうか。「障害」とはどのようなものなのか、どのような特徴を持っているのかを体験を通じて学習します。教職に絶対につきたいという高校生だけでなく、少しでも学校教育や社会に興味がある高校生は、一緒に学んでみませんか。	後藤 隆章(横浜国立大学 教育学部 講師)	2018/8/7(火)	13:00~14:30	教育学部講義棟7号館104教室	無料	70	29
8	情報基盤センター	高校生	初心者のためのプログラミング体験入門—Processingによるグラフィカルなプログラム作成—	本講座は、高校生を対象としたプログラミング入門講座です。グラフィックスやインタラクションに関する簡単なプログラムをProcessingで作成し、その楽しさを体験します。Processingとは、比較的簡単に視覚的な表現が可能なプログラミング言語であり、無償で環境を用意でき、初心者でも学びやすい言語です。	塩野 康徳(横浜国立大学 情報戦略推進機構 講師)	2018/9/1(土)	13:00~17:00	情報基盤センター PC教育室A	無料	30	30

平成30年度開催公開講座一覧(全22講座)

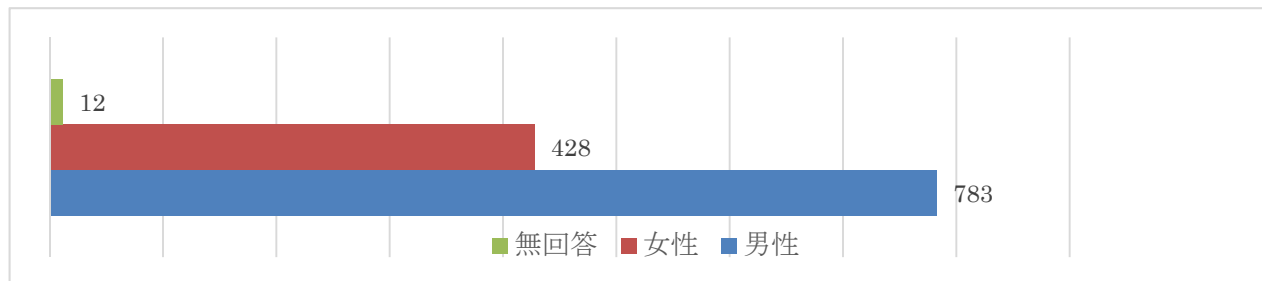
講座番号	担当	講分産区	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
9	教育学部	高校生	外国につながる子どもに教えられる教師になろう—自分が教わったことがないことが教えられるか—	小学校などで日本語が不自由な子どもは急増しており、特に、地元・横浜、神奈川では顕著で、過半数を占める公立小学校もあります。あなたが教師になったとき、その子どもたちにきちんと教えられるでしょうか。自分はそのように役立っているか、そして、どうしたら、さらに役立っているかについて考えていきます。	河野 俊之 (横浜国立大学 教育学部 教授) ほか	2018/9/9 (日)	13:00~15:00	教育学部講義棟7号館210教室 (予定)	無料	10	20
10	男女共同参画推進センター	中学・高校生	YNU理系女子★サイエンスプログラム～先輩に聞いてみよう！進路と研究～	理系に進むとどのような研究をしてどのような道が開かれるのか、理系だからこぞできることは何か？本講座では、本学の理系女子大学院生の先輩などから進路や研究、大学生活についてお話を聞くとともに、学内見学などを行います。オープンキャンパスとは一味違うYNUの雰囲気や、じっくり、ゆったり体験してみましょう。	鈴木 紀子 (横浜国立大学 男女共同参画推進センター 准教授)	2018/10/13(土)	14:30~17:00	経済学部講義棟2号館111教室	無料	30	32
11	教育学部	地域社会 (一般)	快適被服を科学する—熱中症予防と服装の関わりを考える—	2011年の東日本大震災の影響で夏季の節電対策の一環として衣服の役割が注目されましたが、衣服は熱中症予防や健康・快適性維持にも貢献することが期待されています。暑熱環境下で温熱的快適性を維持するためには、クールビズで象徴されるような環境共生型の衣服の着方が大切です。どんな衣服が、夏季の暑熱条件下の熱水分移動性能に優れているかを各々素材要因と、デザイン要因に分けて、紹介したいと思います。季節に適合し、環境にも優しく、着用者自身にとっても快適な衣生活を営むためには、なにが重要であるのか考えましょう。	藤本 弥生 (横浜国立大学 教育学部 教授)	2018/7/7 (土)	13:30~16:30	教育学部講義棟7号館102、103室	無料	50	33
12	教育学部	地域社会 (一般)	レクチャーコンサート：ピアノ曲からみた音楽と社会—舞曲の系譜—	クラシック音楽といえば身動き一つせず静かに聴くものというイメージがありますが、実は器楽の始まりは、踊るための音楽、舞曲に大きな流れの一端があります。バロック時代の組曲から古典派・ロマン派とくにショパンのマズルカのような民族性あふれる舞曲まで、舞曲を通して音楽と社会の関わりをみていきましょう。	金光真理子 (横浜国立大学 教育学部 准教授) 森野 かおり (横浜国立大学 教育学部 講師)	2018/9/10 (月)	13:00~14:30	横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室	無料	200	230
13	教育学部	地域社会 (一般)	イタリア音楽紀行—キリスト教が育んだ音楽文化—	イタリアはキリスト教・カトリックの国ですが、宗教とオペラやイタリア各地の民謡のような音楽とはどのように関わってきたのでしょうか？キリスト教がなぜこれほど広まったか、その背景にあった音楽とその世俗化、そして民衆の文化へのつながりなど、聖と俗がからみあったイタリアの音楽文化をみていきましょう。	金光真理子 (横浜国立大学 教育学部 准教授)	2018/9/19 (水)	13:00~14:30	横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室	無料	200	220
14	教育学部	地域社会 (一般)	歩いて見に行こう神奈川の歴史と地理 (5) 藤沢	みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたくさんあります。普段は見過ごしているそれらに気がついたり、見つけ出したりすることは宝探しに似た面白さがあります。この講座では、みなさんと一緒に歩きながら、そうした「痕跡」を探し出し、町の歴史や地理について楽しく考えていきたいと思います。	吉田 圭一郎 (横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保 (横浜国立大学 教育学部 教授) 鈴木 允 (横浜国立大学 教育学部 准教授)	2018/10/27 (土)	10:00~17:00	(午前) 屋内講義 (場所は参加票送付時に通知します) (午後) 藤沢駅～藤沢本町駅周辺	無料	25	14
15	国際社会科学研究所	地域社会 (一般)	高齢社会を支える法制度	人生100年時代を控え、高齢期が長くなり、高齢者の姿は多様化しています。高齢者をめぐる法律問題の検討に特化した高齢者法の可能性、高齢者雇用制度、見守り契約をはじめとする高齢者に関わる契約などについて、法律の専門家が分かりやすく解説します。	関 ふ佐子 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授) 石崎由希子 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 准教授) 渡邊 拓 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授)	2018/10/13 (土) 2018/10/20 (土) 2018/10/27 (土)	14:00~17:00	横浜国立大学 教育文化ホール 中会議室	無料	50	70

平成30年度開催公開講座一覧(全22講座)

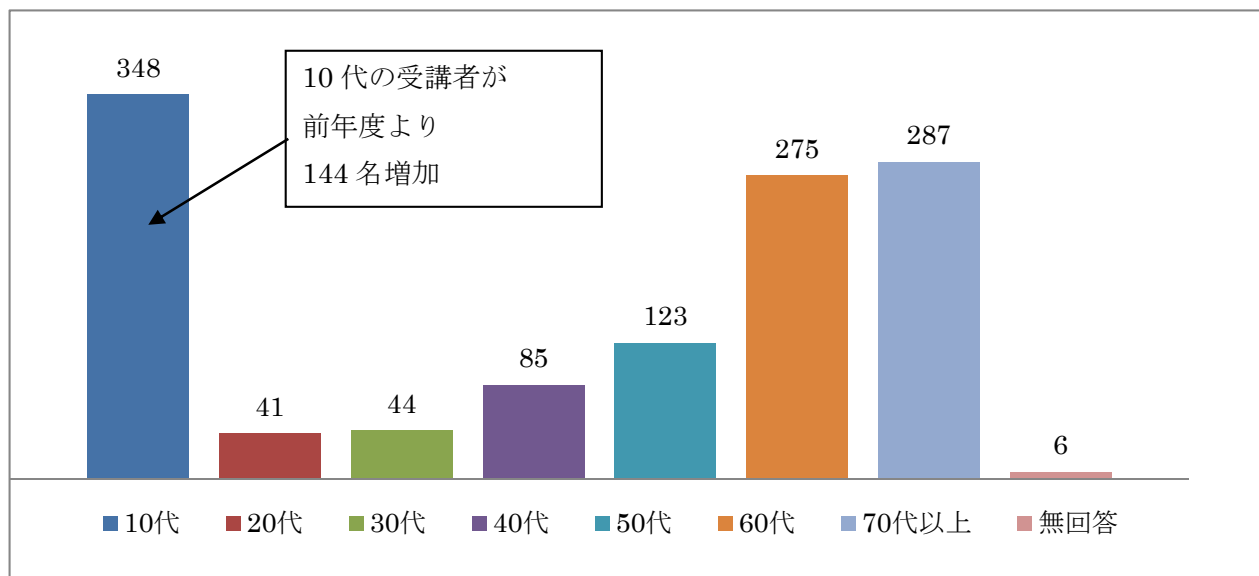
講座番号	担当	講分産区	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
16	工学研究院	現役世代社会人	水道施設維持管理のための腐食防食基礎講座	これまで、本学では主に専門技術者に対する実習型講座を開催してきました。この度、「水道施設維持管理のための腐食防食基礎講座」をテーマに維持管理に関連した「腐食防食基礎」を若手・事務系・技術系等の初学者的の方々に参加頂ける実習型出前講座として開催します。化学が苦手な方にもご参加頂けます。	伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	(1)2018/6/28(木)～6/29(金) (2)2018/7/23(月) (3)2018/11/12(月)～11/13(火)	(1)・(3) 1日目 14:00～17:00 2日目 9:00～12:00 (2) 10:00～17:00	(1)佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」(予定) (2)新潟駅周辺会議室(予定) (3)仙都会館 会議室(予定)	3000円	60 (20人×3回)	79
17	都市工学研究院	現役世代社会人	モビリティデザインサマースクール	都市交通計画及び交通工学に携わる行政職員やエンジニア、都市交通計画及び交通工学を学ぶ若手研究者や学生を対象に、モビリティ・デザインの演習体験を通して、実践的な考え方を、以下の4部構成で学んでいただきます。 1.モビリティデザインの基礎 2.応用理論 3.事例研究 4.実践演習	中村 文彦 (横浜国立大学 理事・副学長)	2018/7/21(土)	10:00～17:00	横浜国立大学 土木工学棟 セミナールーム	2000円	20	22
18	機器分析評価センター	現役世代社会人	バイオテクノロジー実験講座 先端バイオテクノロジーを理解する～遺伝子工学と細胞工学～	本講座は、高校教員や学生、一般の方を対象として、進歩を続けるバイオテクノロジーの理解を深めることを目的としています。遺伝子工学や細胞工学についての基礎を学習し、実際に先端的な機器や培養細胞を使用して実験を行うことで、食品、医療、農業等の様々な分野で応用されている重要な技術を学びます。	栗原 靖之 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 田中 陽一郎 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 金田 祐子 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術補佐員)	2018/7/31(火) 2018/8/1(水)	10:00～17:00	生物・電子情報棟3階301室 機器分析評価センター RI 教育研究施設 一般実験室 機器分析評価センター2階212-2室	3000円	8	8
19	機器分析評価センター	現役世代社会人	固体材料解析の基礎講座	本講座は機器分析の経験が浅い実務者を対象として、固体材料における機能の優劣や劣化の要因を理解するための基礎の習得を目的としています。身近にある材料を題材に、X線や電子線を利用する機器を複数使用しながら材料解析の手法を学びます。	谷村 誠 (横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 吉原 直希 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 近藤 正志 (横浜国立大学 機器分析評価センター 再雇用職員) 金田 祐子 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術補佐員)	2018/9/4(火)	10:00～17:00	機器分析評価センター	2000円	12	4
20	機器分析評価センター	現役世代社会人	実践機器分析基礎講座(NMR)「分子構造解析の実際」 一分子構造の「パズル」を解く！核磁気共鳴法(NMR)	有機化合物は、炭素、窒素、酸素などの元素からなる構造ですが、その組み合わせによって無数とも言えるほど多様な「分子構造」を持っており、様々な化学物質の機能や効能などを決定づけています。本講座では、分子構造を調べる方法として、核磁気共鳴法(NMR)を用いて、その基礎を体験学習します。	川村 出 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 石原 晋次 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員)	2018/10/19(金)	10:00～17:00	機器分析評価センター	2000円	8	7
21	経済学部	現役世代社会人	現代の経済政策と民主主義的決定の再考	最近、マスコミ等がよくとりあげられる経済学のトピックスの1つに、政治のあり方をも問うものがあります。本講座では経済政策と民主主義的決定のあり方について、ゲーム論、財政学、政治学という多様なアプローチから、皆さんと一緒に考えてまいります。	佐野 隆司 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授) 政一郎 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授) 梶島 洋美 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授)	2018/11/2(金) 2018/11/9(金) 2018/11/16(金)	18:00～19:30	横浜国立大学 教育文化ホール 中集会室	無料	50	39
22	環境情報研究院	現役世代社会人	超スマート社会を支える基礎技術とリスク管理	昨今話題のAI(人工知能)に象徴される情報・通信技術の発展に牽引された社会の劇的なスマート化(利便性の向上)と、その安全性やリスク管理の問題に関して、本学の専門家が分かりやすく解説します。	田村 良直 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 吉岡 克成 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 野口 和彦 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授)	2018/11/2(金) 2018/11/9(金) 2018/11/16(金)	18:00～20:00	みなとみらいサテライトキャンパス	無料	40	39

平成30年度 各部局開催の公開講座 参加者アンケートの集計結果

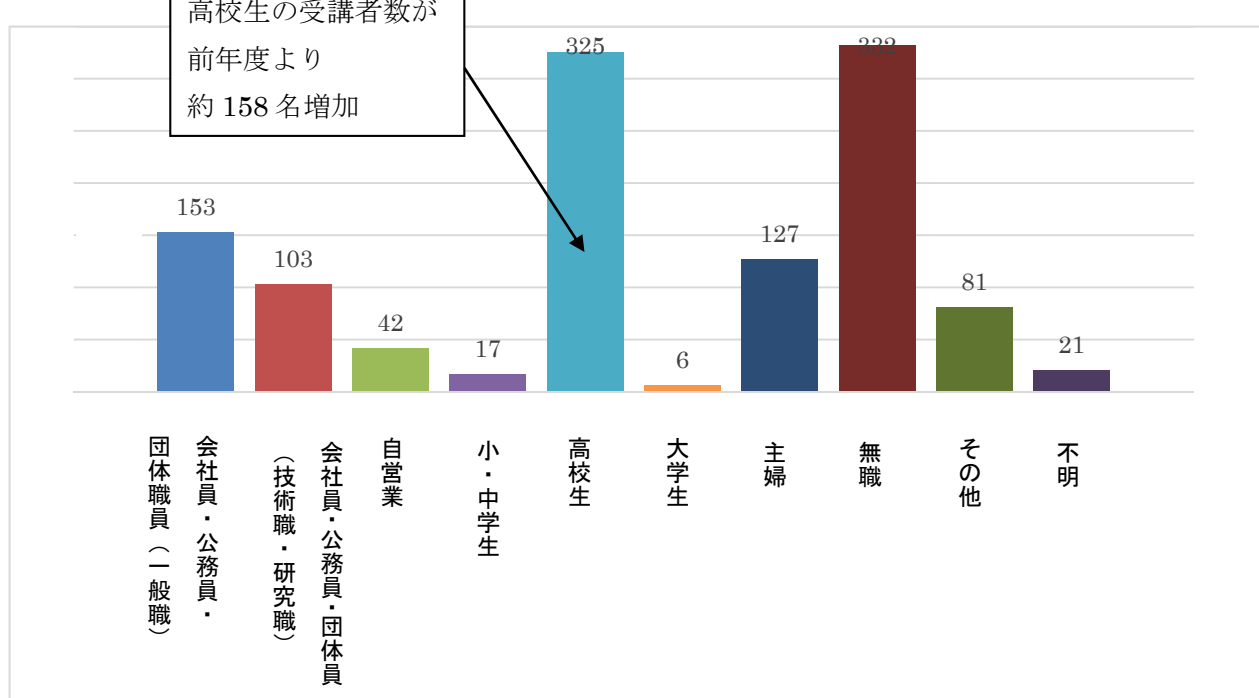
性別



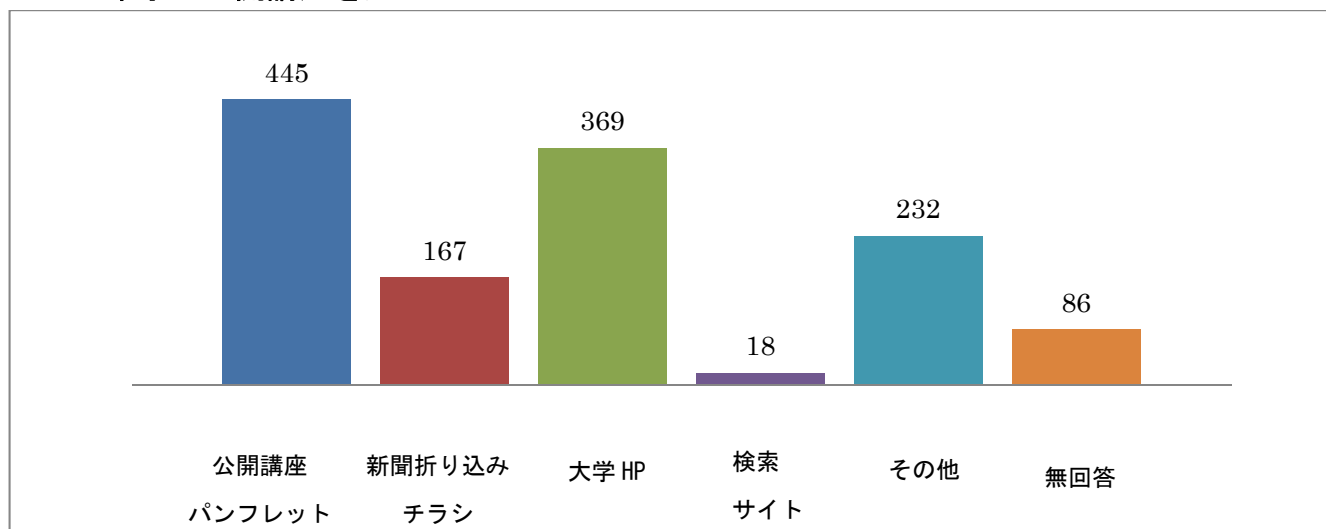
年代別



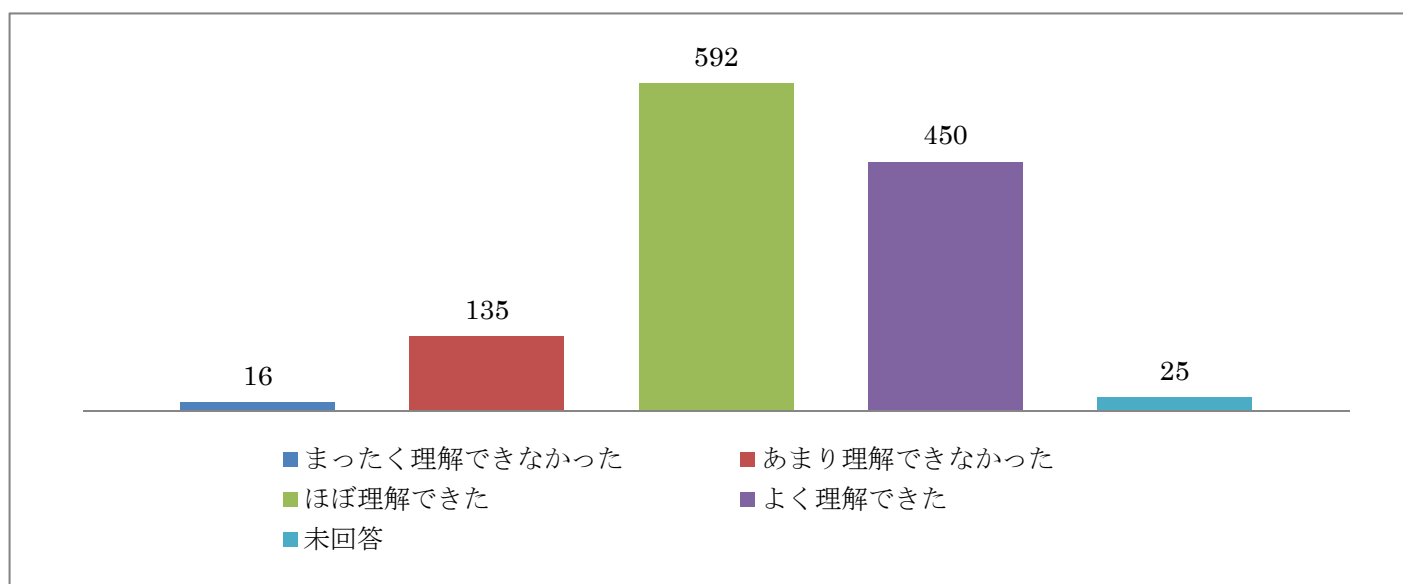
職業別



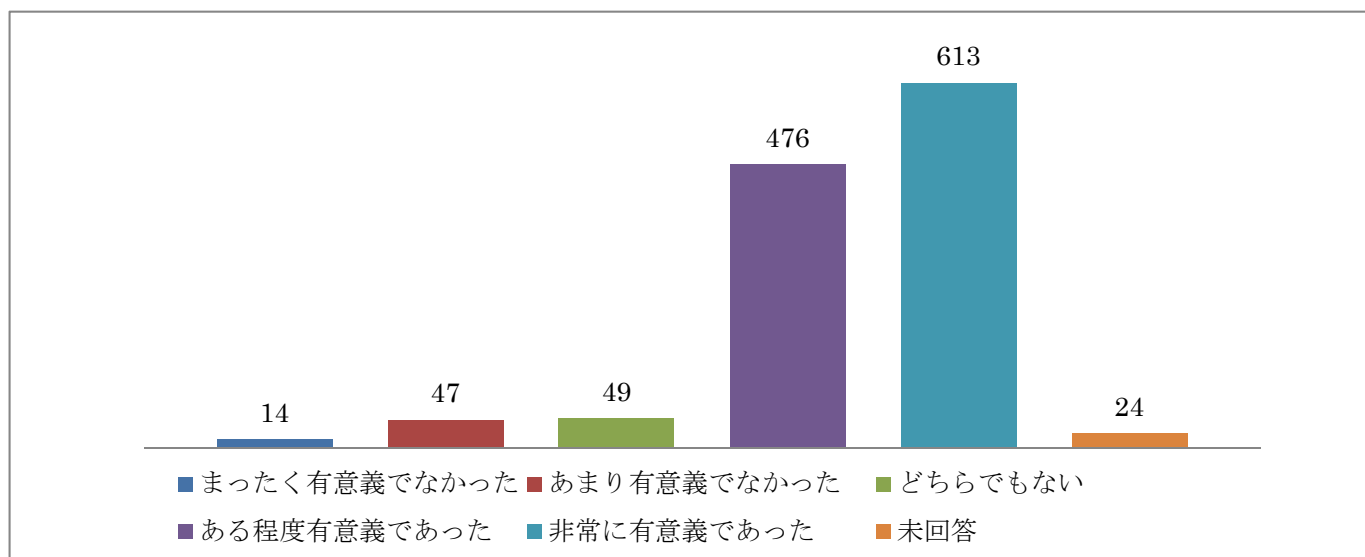
どこで本学の公開講座を知ったか



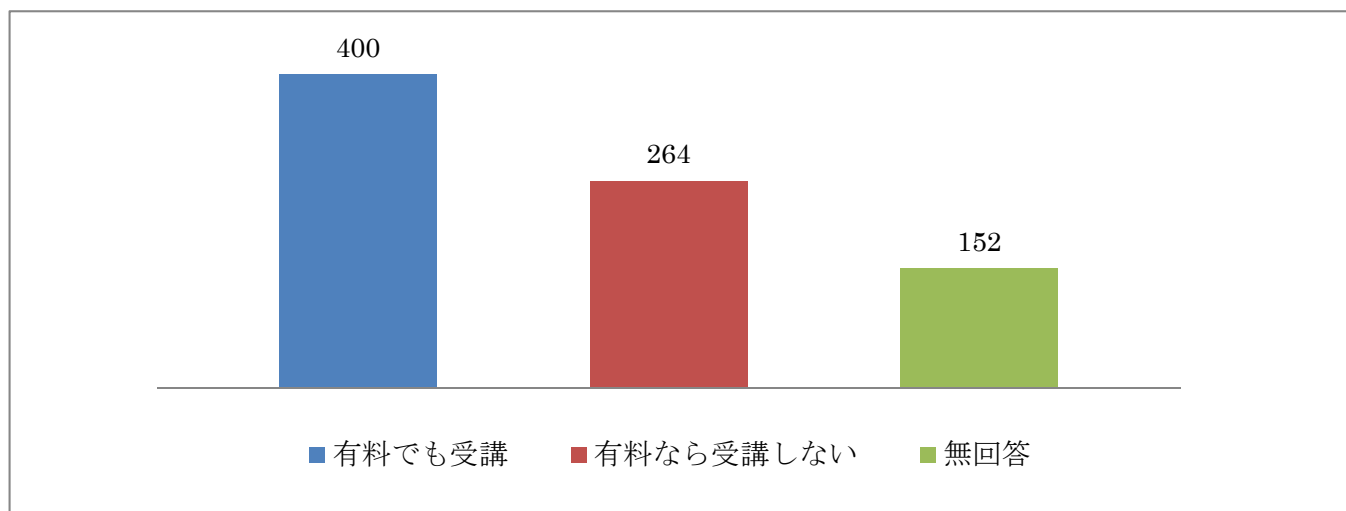
講座内容について理解できたか



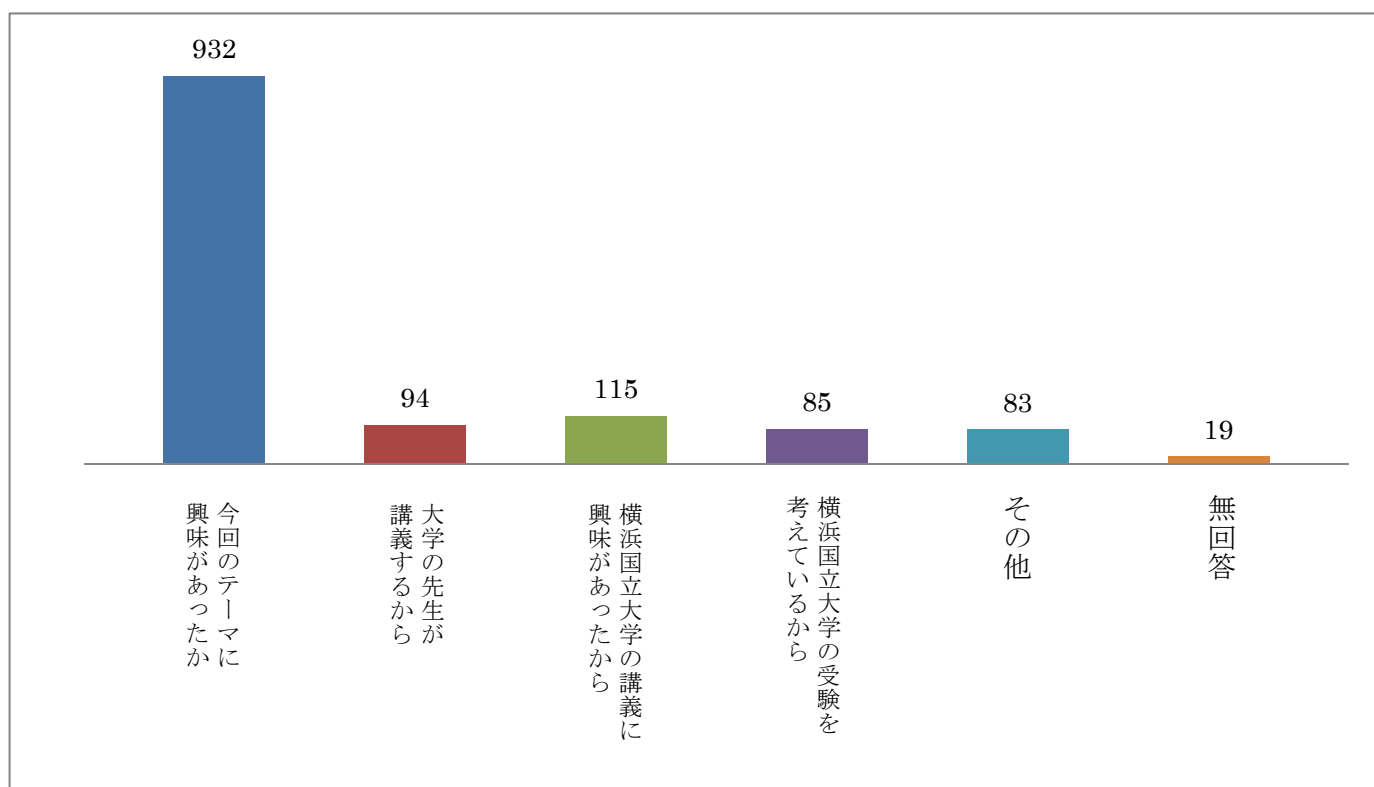
受講して有意義であったと思うか



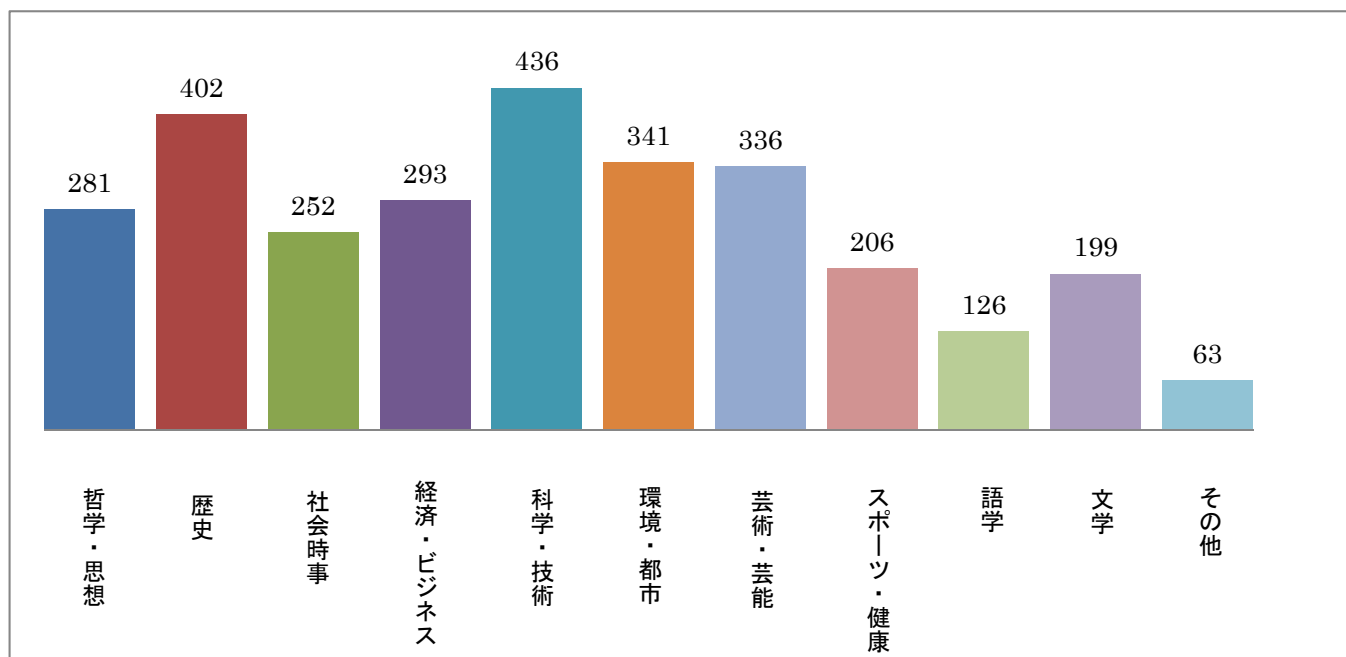
受講料について（無料講座の場合）



今回の公開講座の受講動機について

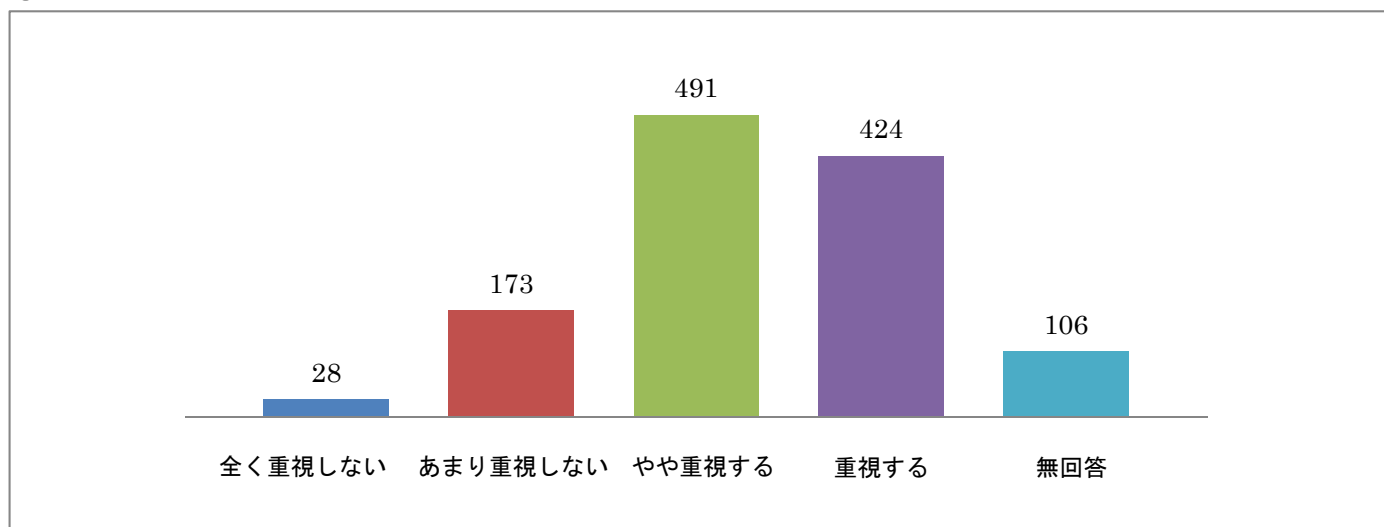


今後希望するテーマ

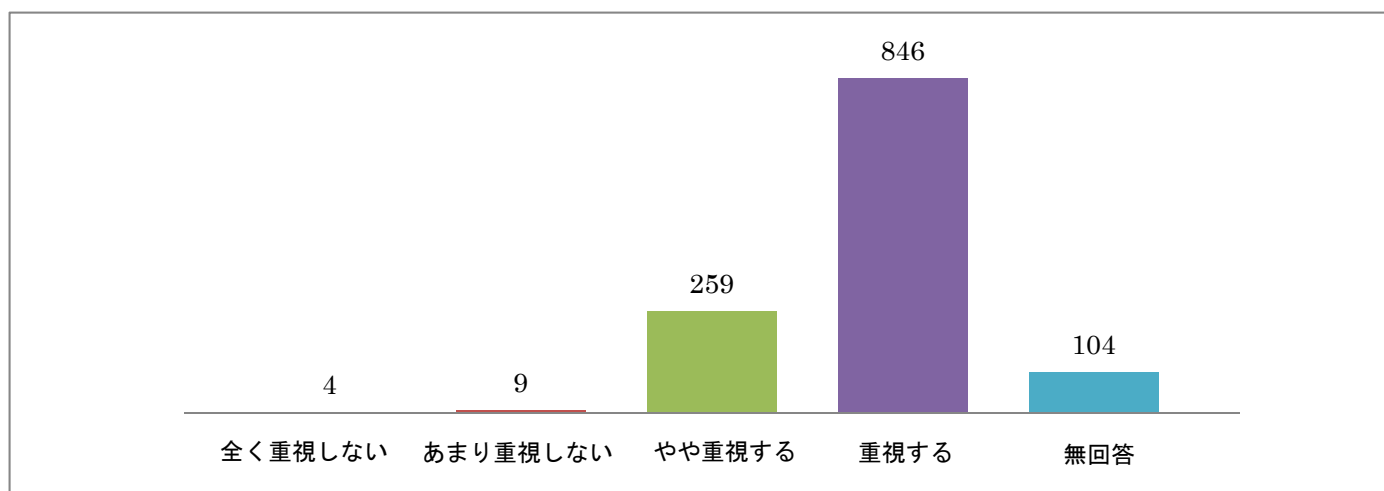


受講を決める際に、以下のことをどの程度重視するか

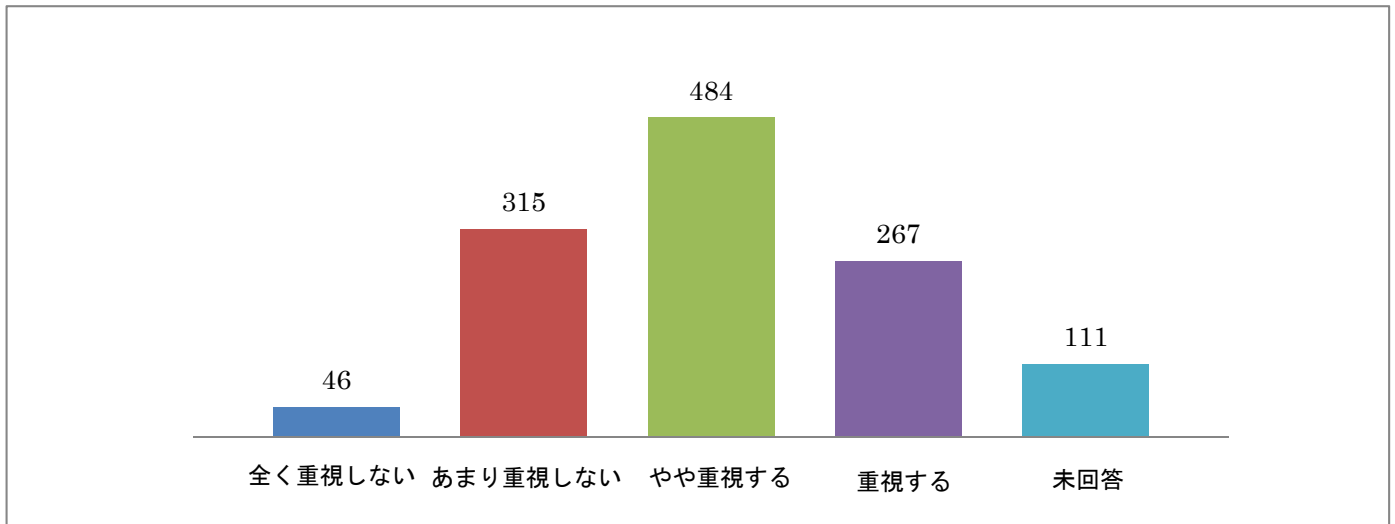
① 講座名



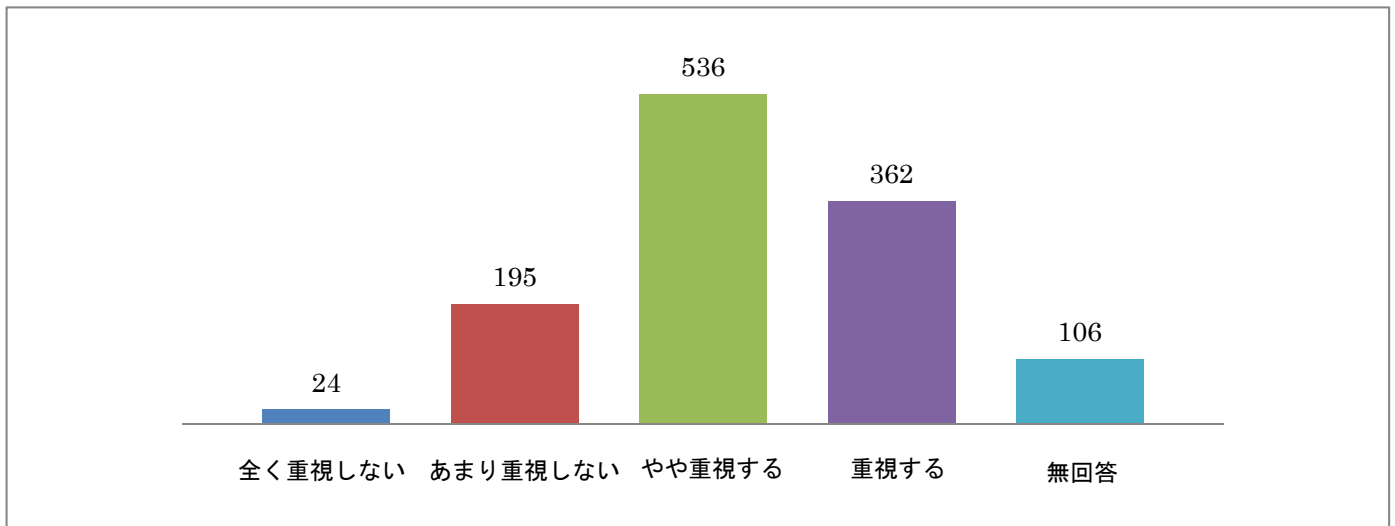
② 講座内容



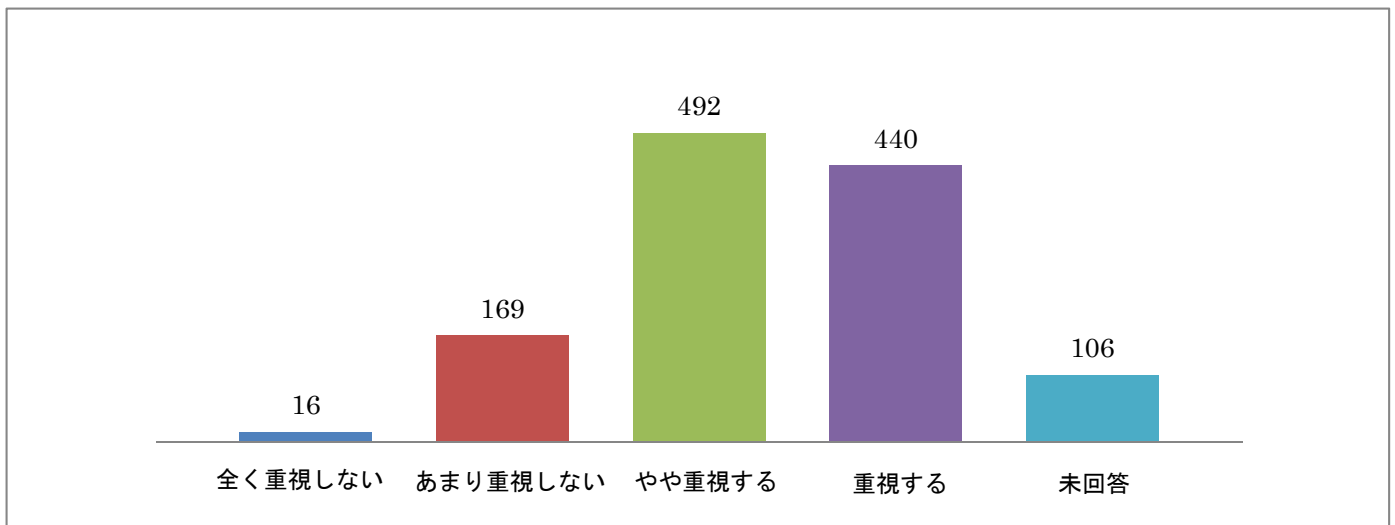
③ 主催機関



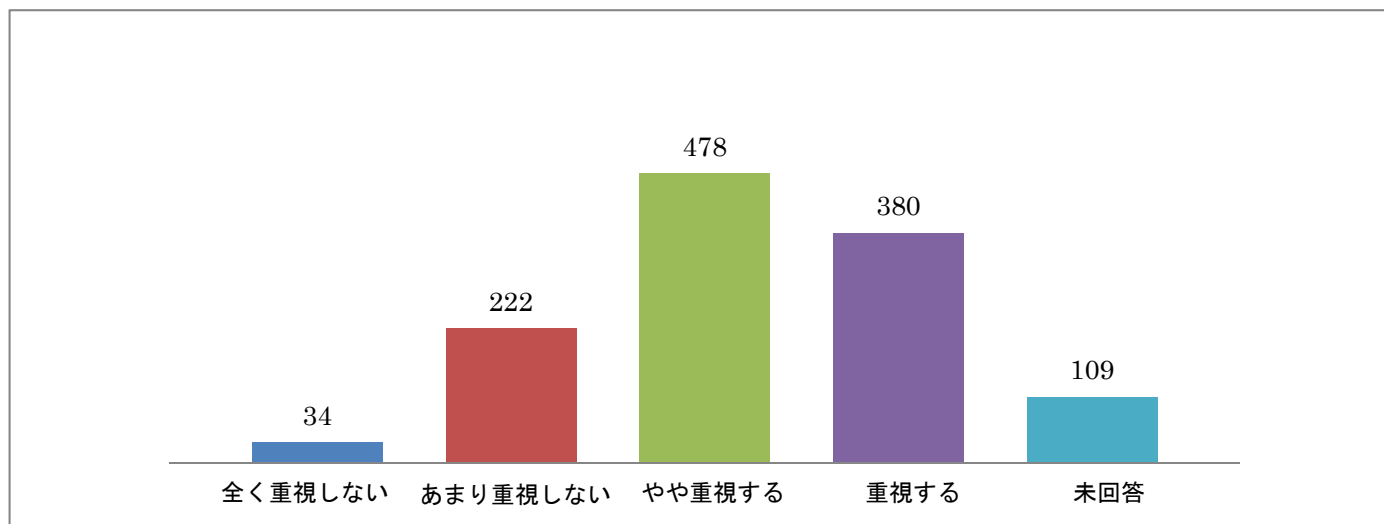
④ 開催場所



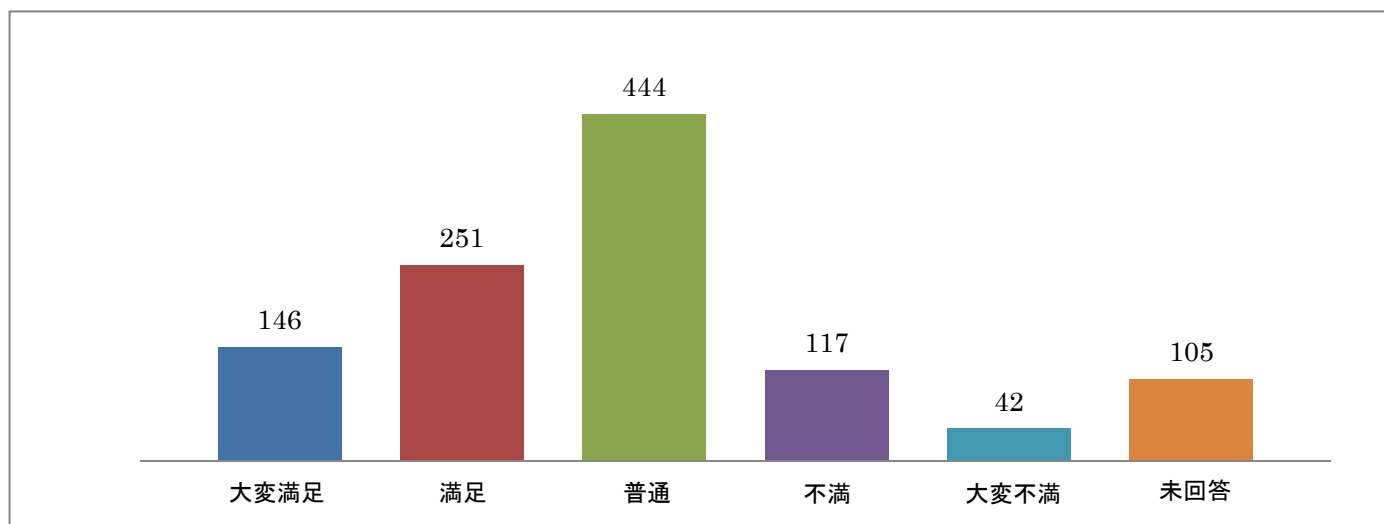
⑤ 日程・時間帯



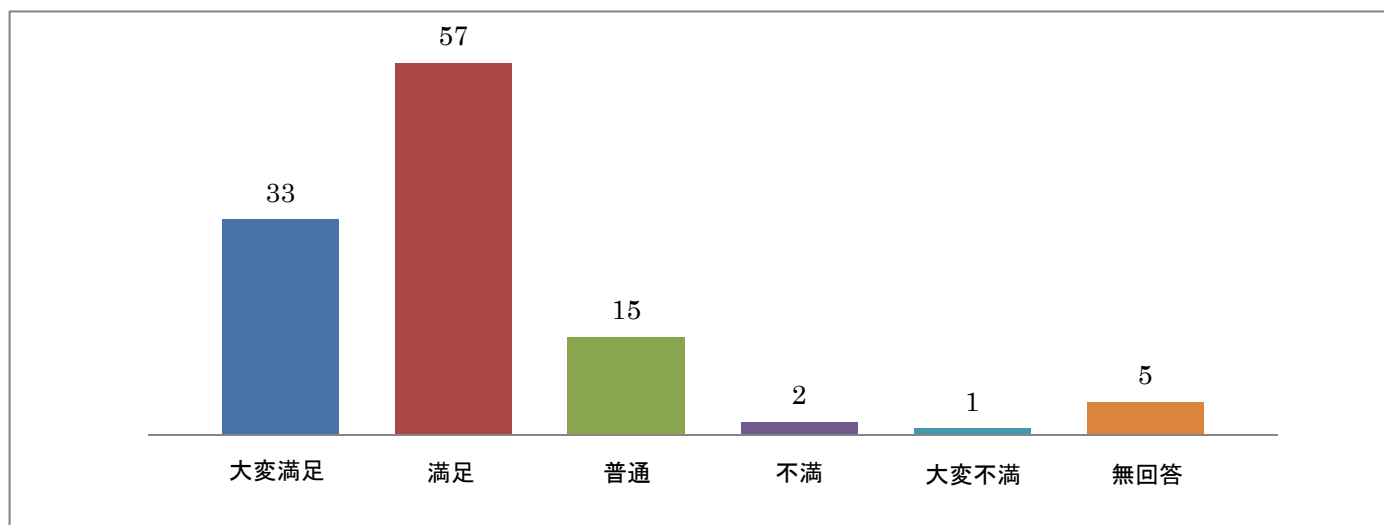
⑥ 受講料



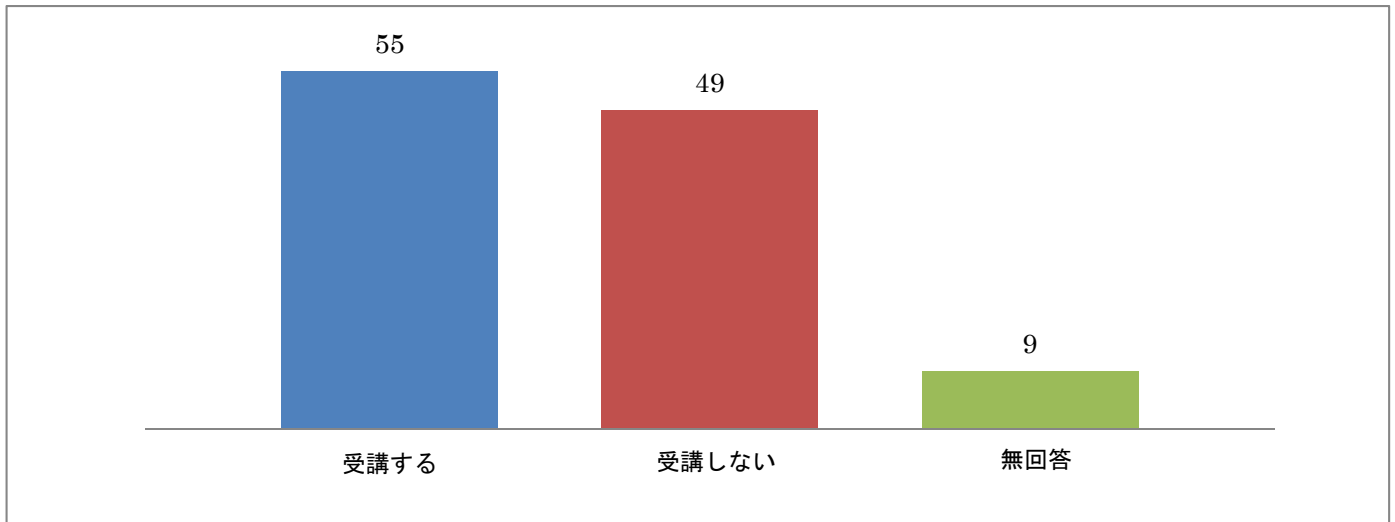
会場について（学内開催）



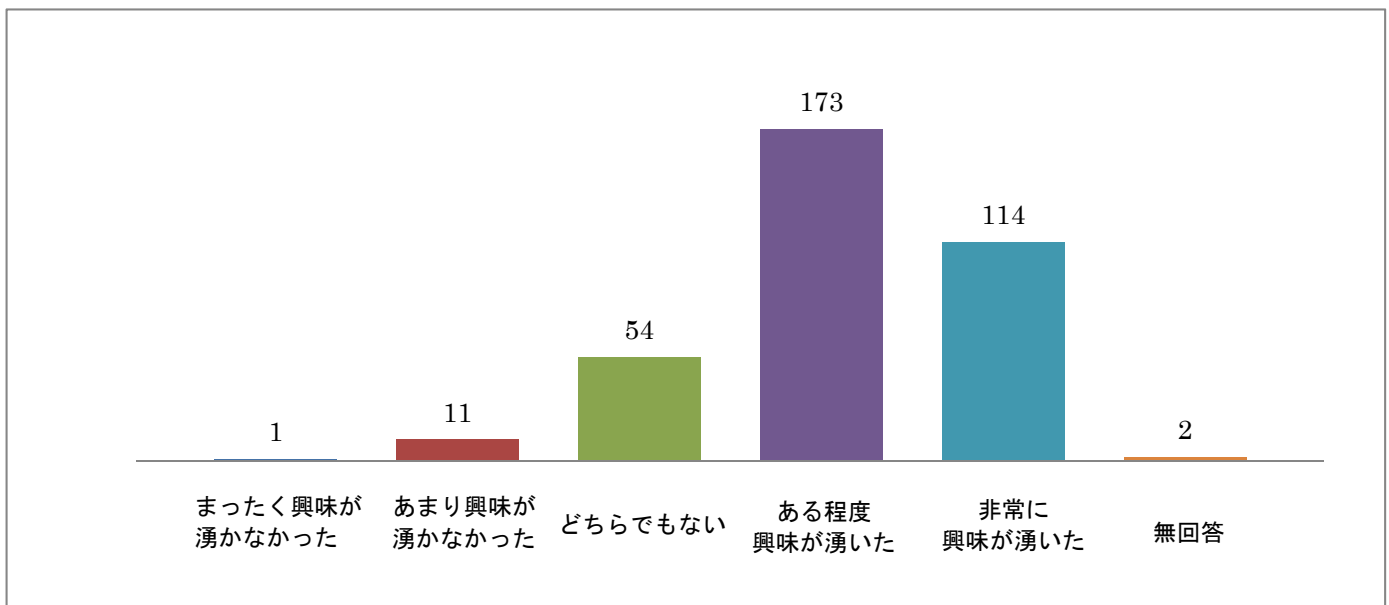
会場について（学外開催）



次回この講座が横浜国立大学 常盤台キャンパスでの開催の場合（学外開催）



この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧いたか（高校生）



公開講座委員会主催

「2025年『超高齢社会』の未来を考える」実施報告

◆総括

本講座は本学と読売新聞横浜支局の共催で、横浜国立大学教育文化ホールにおいて2018年7月27日（金）、8月24日（金）、9月29日（土）の3日間、計6回開催されました。

本年度のテーマは「2025年『超高齢社会』の未来を考える」であり、2025年に訪れる「超高齢社会」を見据え、多くの高齢者と共存する新しい未来について、専門家がわかりやすく解説する講義でした。昨年度に引き続き「高校生向け」として企画・開催し、高校生36名を含む105名の申し込みがありました。

実際の受講者は平均56名でした。そのうち4回以上出席の方は申込者の約47%の50名であり、その受講者に修了証が授与されました。

アンケート結果を見ると受講の動機の65%は「2025年『超高齢社会』の未来を考える」というテーマへの興味でした。全体で86%の受講生が「よく理解できた」あるいは「ほぼ理解できた」と回答しており、89%の受講生が「非常に有意義であった」もしくは「ある程度有意義であった」と回答しており、今回の講座に対して高い評価が得られたものと考えます。また、高校生の74%が本学へ「非常に興味が湧いた」もしくは「ある程度興味が湧いた」と回答しており、高校生向けの講座として、ある程度の成果があったものと考えます。

本年度の全学公開講座の実施にあたって、6人の講師の先生はもちろんのこと、熱心に受講された方々、告知や記事掲載をしていただいた支局長をはじめ読売新聞横浜支局の方、講座の実施に心から尽力いただいた事務局の皆様に深く感謝いたします。

◆申込者数 105名

◆申込者の年代

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	総計
人数(名)	36	2	2	5	14	22	23	1	105

◆受講者数

開催日	講師	受講者数 (名)
7月 27日	大学院環境情報研究院 岡嶋 克典 教授	67
7月 27日	障がい学習支援室 (保健管理センター) 福榮 太郎 講師	65
8月 24日	大学院工学研究院 高田 一 教授	59
8月 24日	大学院国際社会科学研究院 関 ふ佐子 教授	60
9月 29日	元教育人間科学部教授 工藤 由貴子 先生	44
9月 29日	大学院環境情報研究院 安藤 孝敏 教授	44

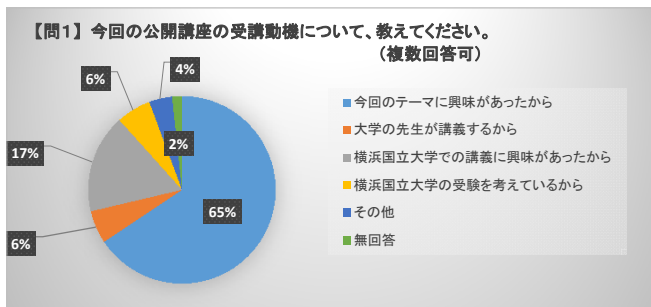
◆修了証授与数 50 名

全 6 回中、全 4 回出席した者に修了証書を授与

平成30年度 公開講座委員会主催主催
公開講座アンケート結果

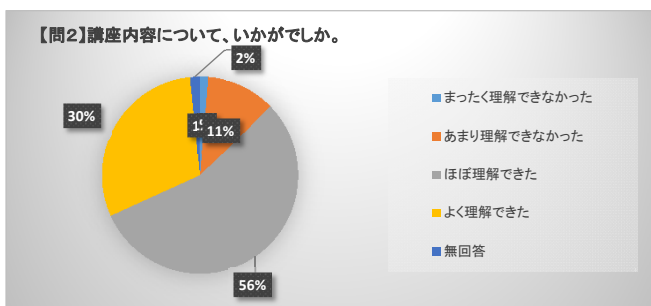
【問1】今回の公開講座の受講動機について、教えてください。
(複数回答可)

今回のテーマに興味があったから	231
大学の先生が講義するから	20
横浜国立大学での講義に興味があった	60
横浜国立大学の受験を考えているから	21
その他	14
無回答	6



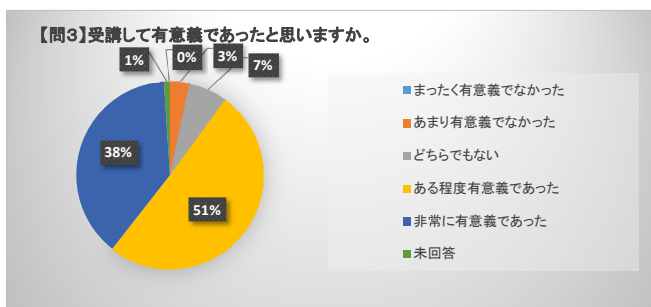
【問2】講座内容について、いかがでしたか。

まったく理解できなかった	4
あまり理解できなかった	34
ほぼ理解できた	166
よく理解できた	90
無回答	5



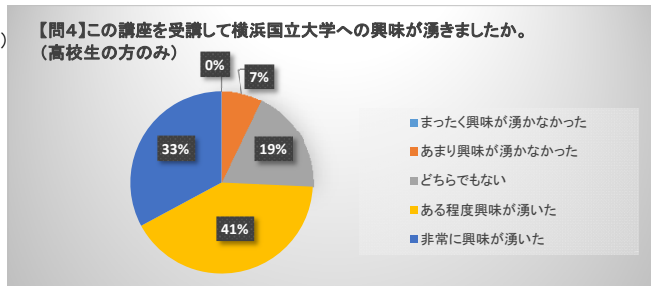
【問3】受講して有意義であったと思いますか。

まったく有意義でなかった	0
あまり有意義でなかった	10
どちらでもない	20
ある程度有意義であった	151
非常に有意義であった	115
未回答	3



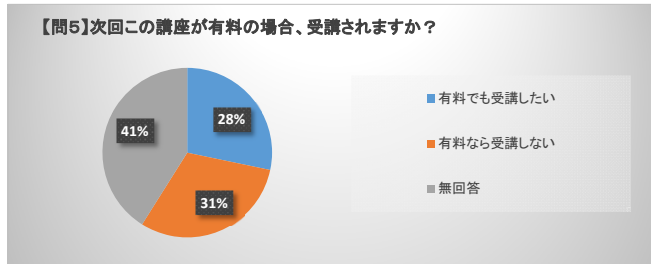
【問4】この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧きましたか。
(高校生の方のみ)

まったく興味が湧かなかった	0
あまり興味が湧かなかった	5
どちらでもない	13
ある程度興味が湧いた	29
非常に興味が湧いた	23



【問5】次回この講座が有料の場合、受講されますか。

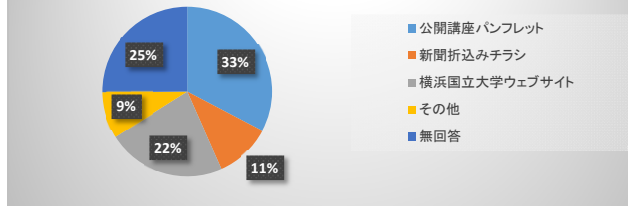
有料でも受講したい	82
有料なら受講しない	89
無回答	119



【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

公開講座パンフレット	104
新聞折込みチラシ	34
横浜国立大学ウェブサイト	72
その他	28
無回答	80

【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

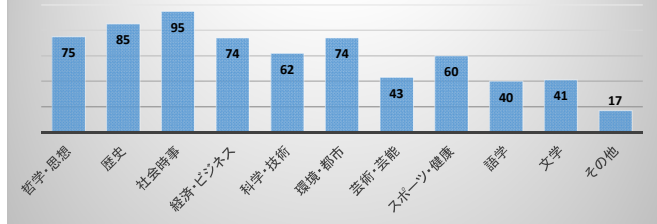


(問7以下は、初回の受講者のみ記入)

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)

哲学・思想	75
歴史	85
社会時事	95
経済・ビジネス	74
科学・技術	62
環境・都市	74
芸術・芸能	43
スポーツ・健康	60
語学	40
文学	41
その他	17

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)



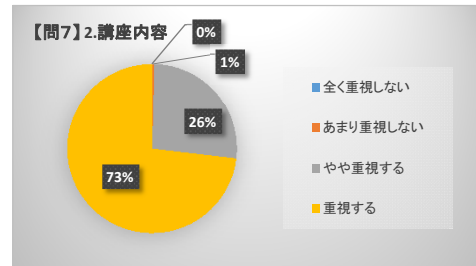
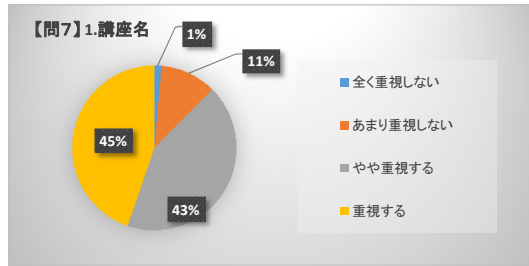
【問8】公開講座の受講を決める際に、以下のことをどの程度重視されますか。

1. 講座名

全く重視しない	3
あまり重視しない	24
やや重視する	93
重視する	97

2. 講座内容

全く重視しない	0
あまり重視しない	1
やや重視する	57
重視する	158

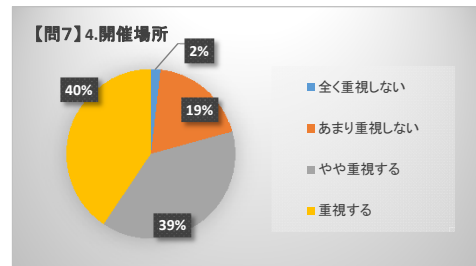
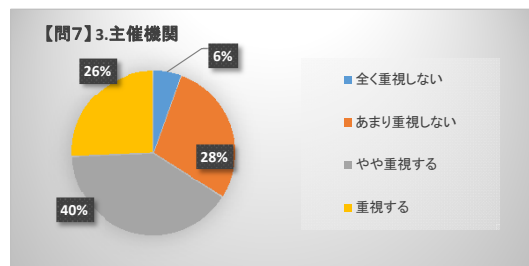


3. 主催機関

全く重視しない	12
あまり重視しない	62
やや重視する	88
重視する	56

4. 開催場所

全く重視しない	4
あまり重視しない	41
やや重視する	84
重視する	88

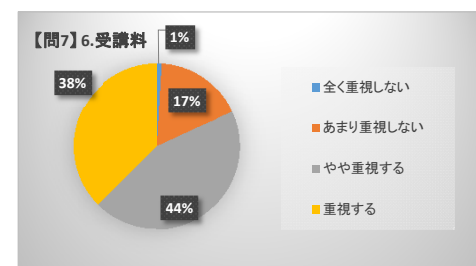
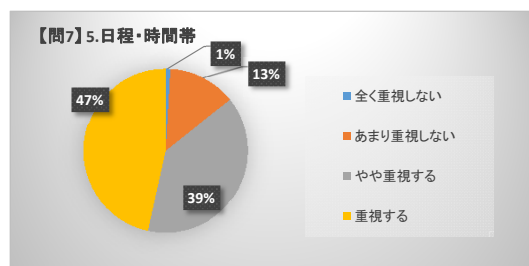


5. 日程・時間帯

全く重視しない	2
あまり重視しない	29
やや重視する	85
重視する	101

6. 受講料

全く重視しない	2
あまり重視しない	37
やや重視する	96
重視する	81



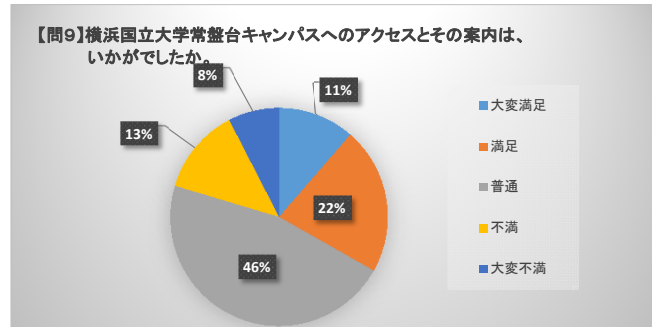
【問9】横浜国立大学常盤台キャンパスへのアクセスとその案内は、いかがでしたか。

また、その理由についてお聞かせください。

大変満足	24
満足	46
普通	98
不満	27
大変不満	16

(不満・大変不満の理由)

横浜駅のバスの乗り場がよくわからない
バスの本数が少ない
入口が分からなくて迷ってしまいました
公共交通から徒歩部分の地図を詳しくしてほしい
表示がほとんどなかった
バス便で本数が少ない、夕方は車両混雑がひどい
徒歩での詳しい行き方を明記してほしい
土日のバスの本数があまりない(和田町から)
坂道でバス停からかなり歩く。高齢者(70歳)には負担。



【問10】 その他ご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。(多数のご意見から一部を抜粋しました。)

第1回目 (講師:環境情報研究院 岡嶋克典 教授) 視覚特性の加齢変化:~老化によって変わる事・変わらないこと~

とても分かりやすかったです。もっと話を聞きたい、もっと勉強してみたいと思う講座でした。

実際に社会に活用されている例が紹介されていて、「実践性のある学問」のイメージがつかめました。

デザインの良さ、分かりやすさは、こういった研究がもとになっていたと知りました。

第2回目 (講師:障害学生支援室 福榮太郎 先生) 認知症とはどのような状態なのか

最新の研究内容も含まれていてよかったです。今後、その2025年に向けてどうしたらよいか、という視点も期待しております。

とても参考になりました。受講して良かったです。

私の母は、8年前より認知症が発生し、現在要介護5で特養に入所しています。認知症の初期のときに、もっと優しく寄り添ってあげればと思いました。

第3回目 (講師:工学研究院 高田一 教授) 自立生活を支援する福祉機器

様々な福祉器具の開発がされていることが知れたのはよかったです。

実用化への研究開発の進捗状況、課題など対応策等についてももう少し聞きたかった。

引き続き企画を楽しみにしています。

第4回目 (講師:国際社会科学研究院 関ふ佐子 教授) 人生100年時代の人生設計・社会設計

初めて参加し、大変参考になりました。二時間、短すぎた感じでした。

講義の進め方としては大変ユニークでおもしろいが、時間が足りなく踏み込めなかった。勿体ない。

大変おもしろい講座でした。

第5回目 (講師:元横浜国立大学 教育人間科学部 工藤由貴子 教授) 超高齢社会を生きる若者たちへ

別の機会にもう少し講義を聞きたい。

老いというのも楽しみにしようと思いますが、まだ若いので今を生きて楽しもうと思いました。

今後も楽しみにしています。

第6回目 (講師:環境情報研究院 安藤孝敏 教授) 新しい共生の住まい・ペットと共生する高齢者の生活

ペットを飼うメリットは多数あり、とても良い老いを防ぐ方法だと思いますが、自分が先にガタが来た時に、やはりペットをどうするかという問題に焦点が当てられると思います。自分としては、最近一人暮らしの老人が増えている上、捨て犬や猫となってしまうペットが増えている状況なので、ペットを放棄しないように覚悟をもって臨むことが必要だと思いました。

全3回で学んだことを今後の人生に活かして参りたいです。ありがとうございました。